

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	技術基準対象施設の維持管理技術に係る人材育成等に必要経費		担当部局庁	港湾局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度/平成23年度		担当課室	技術企画課		課長 大脇 崇	
会計区分	一般会計		施策名	19 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	港湾の施設については、今後、老朽化が進展し、維持・更新費用が増大することが見込まれており、整備後の港湾の施設を計画的かつ適切に維持管理を行って維持・更新費用の最小化を図りつつ長期にわたって有効に活用していくことが不可欠なものとなっている。よって、効果的な維持管理を実現していくために必要となる人材の育成等、国として必要な取り組みを進める。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	効率的に集約整理した維持管理技術に関する情報を活用し、港湾施設の維持管理に係る技術的知識・技能及び法的責任に関する知見の習得等に資する研修を実施。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	4	3	3	0	0
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	4	3	3	0	0	
	執行額	4	3	0			
執行率(%)	98.3	100.0	0				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	長寿命化計画を策定した国有港湾施設の施設数の累計		成果実績	1369	1940	2552	3565
			達成度	%	38%	54%	72%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	港湾施設の維持管理に関する研修の開催回数		活動実績(当初見込み)	2	1	1	—
				(1)	(1)	(1)	
単位当たりコスト	2.75(百万円/回)		算出根拠	平成20年度から平成23年度における予算執行額 / 同期間における研修の開催回数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	総合的物流体系整備推進調査費	0	0	廃止のため。			
	計	0	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設の効果的且つ適確な維持管理を実現していくために必要となる人材の育成等は、今後港湾施設の老朽化が進展し、維持・更新費用が増大することが見込まれる中、急務である。 ・直轄港湾施設を所有する国として、人材育成を率先して行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度までに港湾施設の維持管理技術の体系的な集約整理は概ね完了したため、平成23年度は直接実施。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は当初の見込み通り実施がなされている。 ・平成22年度までに実施してきた、港湾施設の維持管理技術の体系的な集約整理は、平成23年度に実施した研修において十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	職員に対する研修の成果として、これまでに集約整理した業務成果が活用されている。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	平成23年度限りの予算		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	375	平成23年行政事業レビュー	0344

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					